

## 村長講話



2月3日に、うんな中学校で2年生を対象とした「村長講話」が行われました。

長浜村長は、恩納村の魅力と現在の課題や村が沖縄の中でどのような役割を果たしているのか、そして未来の取り組みについて話し、生徒たちは真剣に村長の話に耳を傾けていました。

講話の後には、生徒から今後の恩納村についての質問もあがり、未来の恩納村像を共有しました。生徒たちにとって恩納村発展に貢献する進路選択のあり方を学ぶ良い機会となりました。

## 「サンゴにやさしい村づくり」を学ぶ



1月25日・27日の2日間、仲泊小学校5年生が恩納村のサンゴを守る取り組みについての環境学習をしました。

恩納村農業環境コーディネーターから村内海域の赤土汚染の現状について聞き、赤土流出防止対策の一つであるグリーンベルトについて、その効果を模型で学習しました。さらに後日、グリーンベルトとなるベチバーの植え付けで環境保全活動を体験しました。子どもたちは、このような陸上での取り組みがきれいな海とサンゴの保全に繋がることを、学習を通して実感できた様子でした。

## 防火対象物適合表示制度「適マーク金」を交付



### 防火対象物適合表示制度とは？

ホテル・旅館等は、不特定多数の方が利用することから、消防法令により、火災時の初期消火や避難誘導などの計画、訓練の実施、消火設備や警報設備等の設置、階段や避難口の管理等、さまざまな防火安全対策を講じることとされています。「表示マーク制度」は、防火安全に関する基準に適合した宿泊施設であることをお知らせし、適マーク「銀」を交付、安心、安全に宿泊施設を利用していただくことを目的としています。

また、3年間継続して防火安全に関する基準に適合した場合に適マーク「金」が交付されます。



今回、金武地区消防本部管内(金武町、恩納村、宜野座村)は、ホテルモンテ沖縄スパ&リゾートに交付されました。

※表示マーク制度は一定規模以上の施設が対象で申請制度であり、表示マークを掲げていない施設が必ずしも消防法令違反ではありません。